

平成28年2月11日(木・祝)
文化振興課(さぬき映画祭実行委員会事務局)
電話:087-832-3785(ダイヤルイン)
担当:白井(090-4780-5642)
今井(090-7575-2569)

さぬき映画祭 2016

本日、「映像作品企画募集」の審査を行い、来年度のさぬき映画祭までに「映像化を行う作品」が決定しましたので発表します。(本日表示式を行います。)

今年度のさぬき映画祭の「映像作品企画募集」では、9点の応募があり、企画書・シナリオ審査を通過した4点について、本日、プレゼンテーション審査を行い、来年度に向けて受賞者自身に映画化を行ってもらう「映像化決定作品」が次のとおり決定しました。

1. 映像化決定作品

(敬称略)

賞金	作品名	受賞者氏名	年齢(歳)	職業	住所
50万円	しょうてんがい しんや ぜんそくりょく ほし おとこ 商店街を深夜、全速力で走る男	みずきわ たかのり 水澤 孝徳	21	学生	高松市
50万円	れもん あんど れたー Lemon & Letter	うめのき けいこ 梅木 佳子	45	非常勤講師	丸亀市

2. 中島貞夫審査委員長のコメント

「映像作品企画募集」事業も、年を重ねるに従い作り手達の思いの深い作品が増加している。その中から今回は、「商店街を深夜、全速力で走る男」と「Lemon & Letter」が選ばれることになったが、前者は、文字通り深夜の商店街を全速力で走るという、映画の原点である“活動”の魅力を全面に押し出したパワー全開の映像で商店街の活性化を図るという企画であり、後者は、前作「W&M」で一定の成果を得た男木島の魅力発信を、更なるチャレンジにより余すところなく行おうという狙いが明確に打ち出された作品で、共に作り手達の思いの深さが伝わって来る。

ただし、その目的達成の為には、時間の許す限り、シナリオ段階での熟慮やその上での手直しを行うべき、というのが審査員一同の意見であった。

3. プレゼンテーション審査の概要

- ・審査日時/2月11日(木・祝)10:30~14:30
- ・会場/eーとぴあ・かがわ
- ・審査員/委員長:中島貞夫(映画監督)、委員:朝原雄三(映画監督)、井上隆史(東京藝術大学客員教授)、橋本一仁(さぬき映画祭実行委員会委員長)、古川京司(香川県政策部文化芸術局文化振興課長)
- ・審査方法等/企画書・シナリオ審査通過者4名がプレゼンテーションを行い、審査員と質疑応答を行いました。
- ・その他/受賞者は、自身で来年度の映画祭までに作品企画をもとに映像化を行います。

4. 表彰式

さぬき映画祭2016開会式において表彰式を実施します。

<開会式>

- ・日時:2月11日(木・祝)18:00~18:30
- ・場所:イオンシネマ高松東 1番スクリーン
- ※終了後、同スクリーンにて『家族はつらいよ』を上映